

第 2 期喜多方市総合戦略 効果検証について

計画期間：令和 2 年度（2020年度）～令和 6 年度（2024年度）

第2期喜多方市総合戦略について

総合戦略の位置付け

- ・「第2期喜多方市総合戦略」は、市の最上位計画「喜多方市総合計画」を基本的指針とし、各分野別計画や施策との整合を図りながら、市の特性・実情に応じた今後5年間の目標や施策の基本的方向、効果検証が可能な具体的施策を示すもの。
- ・計画期間は、令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5年間。

基本的な視点と新たな視点

① 「しごと」の創生

「東京一極集中」や各地方への転出といった状況を踏まえ、本市に住み、働き、安心して楽しく生活したいと思う人を増やし、その希望をかなえられる社会環境の実現を目指す。

② 「ひと」の創生

若い世代の転出超過を踏まえ、本市に安心して住み、働き、結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえられる社会環境の実現と将来を担う多種多様な人材や子どもたちの育成・確保の強化に取り組む。

③ 「まち」の創生

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を支えるため、本市での生活に快適さを実感し、安心して暮らせるような「まち」の活性化を図り、持続可能な地域社会の実現を目指す。

④ 新たな視点（国の基本方針で重点が置かれた内容）

◇地方へのひと・資金の流れを強化する ◇新しい時代の流れを力にする ◇人材を育て活かす
◇民間と協働する ◇誰もが活躍できる地域社会をつくる ◇地域経営の視点で取り組む。

本市の特徴

- ・全国的に知名度の高い「喜多方ラーメン」や米、酒などの特産品が数多くある。
※ご当地グルメ認知度ランキングでは、2018年に全国第1位、2019年には全国第2位。
(出典：ブランド総合研究所)
- ・「日中線しだれ桜」や「三ノ倉高原ひまわり畑」等の観光地で多くの観光客が賑わいを見せている。
※全国の「みんなが行ってみたい」桜名所・お花見ランキングでは、2021年に全国第1位。
(出典：全国お花見ガイド（ウォーカープラス）)
- ・市人口は平成27年国勢調査では、全体で49,377人（15歳未満が5,619人（11.4%）、15～64歳が25,951人（52.6%）、65歳以上が16,674人（33.8%））だが、毎年約700人ずつ減少。特に若い世代が就職や結婚等で首都圏を中心に転出をしているが、「第1期喜多方市総合戦略」の検証結果や直近の社会動態を見れば、転出者が少しずつ抑制されている状況。
- ・現住人口では、直近5年間（平成28年から令和2年）で、出生数は、約300人台／年、死亡数は、約800人台／年となっており、子どもを安心して産み育てることができる環境づくりが重要課題。
- ・稲作農業のほか、金属製品・機械器具製造業が多く、また、酒造業や漆器といった伝統的な産業もある一方で、近年においては、農業や商店街等の担い手・後継者の確保が大きな課題。



上記課題を含め、様々な課題に対し、本市地域の活力低下を防ぐ・向上させていく取組を講じていくことが必要。

総合戦略の基本目標

・本市まち・ひと・しごと創生の目指すべき将来の方向として、第2期総合戦略では6つの基本目標を掲げ、それぞれの基本目標に連なる基本的方向及び具体的施策を定めている。

- 1 安定した雇用を創出する（しごと）
- 2 新しいひと・資金の流れをつくる（ひと）
- 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる（ひと）
- 4 安心な暮らしを守るとともに、周辺地域や民間との連携を図る（まち）
- 5 将来を担う多様な人材を育成・確保する（ひと）
- 6 将来を見据えた魅力的なまちをつくる（まち・ひと・しごと）

1 安定した雇用を創出する（しごと）

基本的方向(1) 地域の特色を活かした足腰の強い農林業を推進する。

- ①農畜産物の高品質化と生産性・収益性の向上による競争力の強化
- ②経営感覚のある農業経営体を中心となった農業構造の確立
- ③低コストで効率的な森林整備の推進

基本的方向(2) 企業誘致を推進するとともに、商工業の経営環境や競争力を強化し、生産性・収益性を高める

- ①工業用地の整備と企業立地に対する支援
- ②企業の生産性向上、経営基盤強化に対する支援
- ③製造業・次世代産業の育成による競争力強化
- ④商業の受注・販路拡大に対する支援

基本的方向(3) 次世代の商工業の後継者づくりを支援し、新たな雇用の創出につなげる

- ①起業・創業に対する支援
- ②商工業の後継者の育成・確保や事業承継に対する支援

基本的方向(4) 地域資源を活かし地場産業の魅力・付加価値を向上させる

- ①喜多方産品の消費・販路拡大による所得の向上

2 新しいひと・資金の流れをつくる（ひと）

基本的方向(1) 市外への流出を抑制し、定住を促進する

- ①市内定住の促進
- ②若者層の市内定着の促進

基本的方向(2) 住まい、仕事等の支援を通じ、本市への移住を促進する

- ①相談・支援体制の強化による本市への移住の促進
- ②移住者に対する住まいや仕事の支援

基本的方向(3) 魅力的な観光エリアづくりにより交流人口を増加させる

- ①観光資源の発掘・磨き上げとネットワーク化
- ②グリーン・ツーリズムの一層の推進と広域連携の強化
- ③インバウンド対策の強化

基本的方向(4) 関係人口の創出拡大や民間資金の還流を図る

- ①多様な関わりを持つ人々との継続的な交流促進
- ②企業や個人による寄附・投資等による資金の流れの強化

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる（ひと）

基本的方向(1) 出会いから結婚・妊娠・出産・子どもの健やかな成長における切れ目のない支援を行う

- ①結婚・妊娠・出産を希望している人々に対する支援
- ②子どもの健やかな成長のための支援

基本的方向(2) 安心して子育てができる環境をつくる

- ①親子を中心に様々な世代が交流できる場の整備
- ②子育て世代への支援
- ③親子が安心して健やかに過ごせるための支援

4 安心なくらしを守るとともに、周辺地域や民間との連携を図る (まち)

基本的方向(1) 安全・安心な地域社会をつくる

- ①防災・減災対策の推進
- ②生活交通ネットワークの維持
- ③空き家対策の推進

基本的方向(2) 市民の健康づくりを強化する

- ①運動の習慣づけによる健康づくりの促進
- ②健康意識の向上と予防医療体制の強化
- ③地域包括ケアシステムの構築による介護・医療体制の充実・強化

基本的方向(3) 地域のつながりを維持する

- ①市民が主役となった持続可能な地域づくり
- ②NPOなどの地域づくりを担う組織や企業との連携

基本的方向(4) 人口減少・高齢化に対応した経済・生活圏を形成する

- ①企業間の広域連携に対する支援
- ②自治体における広域連携の推進

5 将来を担う多様な人材を育成・確保する（ひと）

基本的方向(1) 不足する人材の育成・確保と市内定着を促進する

- ①地方創生の基盤を支える人材の掘り起こし・育成・支援

基本的方向(2) 将来を担う子どもたちの育成を強化する

- ①夢に向かい、変化する時代を生き抜く力を身につけるための教育
- ②本市の歴史、風土、文化等に関する学びを通じた「喜多方人」の育成

6 将来を見据えた魅力的なまちをつくる（まち・ひと・しごと）

基本的方向(1) 新たな時代の流れを力にする

- ①Society5.0の実現に向けた技術の活用
- ②SDGsを原動力とした地方創生

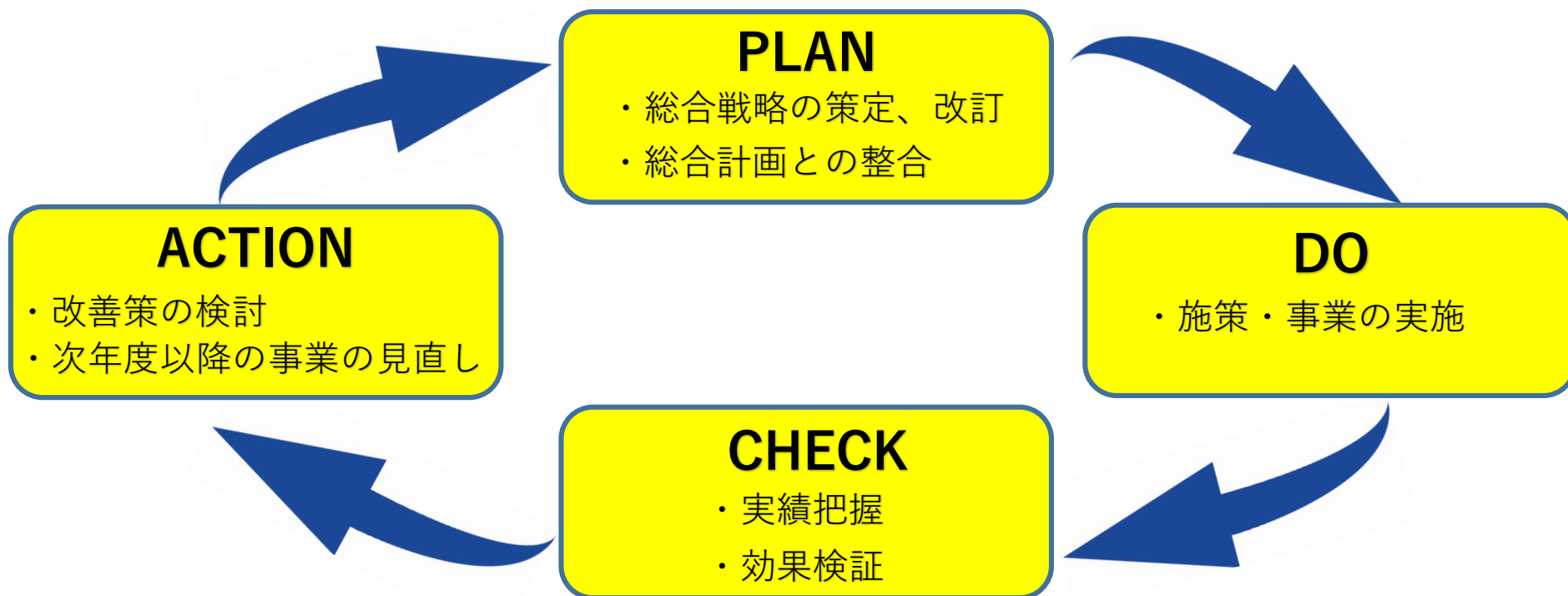
基本的方向(2) 誰もが活躍できる地域社会をつくる

- ①誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会の実現
- ②外国人を受け入れやすい環境の整備と多文化共生の推進

第2期喜多方市総合戦略の効果検証手法について

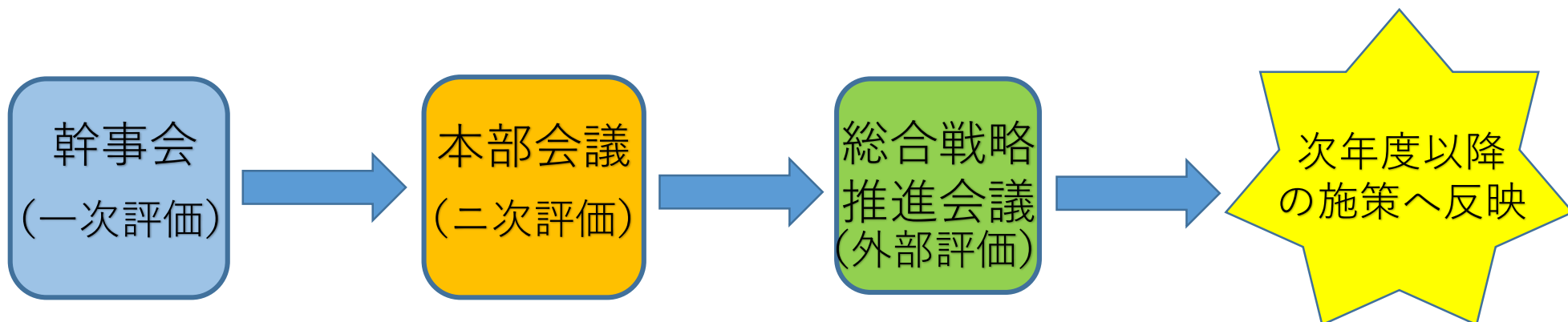
効果検証の趣旨

- ・総合戦略の効果的・効率的な推進のためには、「第2期喜多方市総合戦略」に掲げる各基本目標の数値と各施策のKPIの把握や目標値に対する達成（進捗）状況について評価・検証を行い、必要な改善や見直しを図っていくため、PDCAサイクルを確立することを必要としている。



効果検証の手順

- ・初めに庁内会議（幹事会）にてKPIの達成（進捗）状況について評価・検証（一次評価）を行い、今後の方向性等に関して整理する。
- ・その後、庁内会議（本部会議）にて評価・検証（二次評価）を行い、総合戦略を推進していくために市として今後どのように進めていくべきか整理し、方針を固める。
- ・庁内会議を経て、外部有識者等で構成される会議（総合戦略推進会議）にて評価・検証（外部評価）を行い、委員からの意見等を次年度以降の施策に反映させていく。



評価の基本的な考え方

KPIの評価

- ・当初設定した数値（平成30年度）と目標値（令和6年度）、実績値（各年度）から進捗率を出し、達成（進捗）状況について評価を行う。
- ・初年度にあたる令和2年度の進捗状況としては、20%以上（令和3年度の進捗状況としては、40%以上等）を基準の目安として評価する。（詳細は別紙のとおり）
- ・1つの指標に対し、数値が複数あるものについては進捗率を按分するものとする。

評価区分	内 容
順調に推移	（進捗率が20%以上）
努力が必要	（進捗率が20%未満（減少なども含む））

※進捗率の算出方法について

$$\frac{（実績値 - 初期値（設定時））}{（目標値 - 初期値（設定時））} \times 100$$